

□ 出張報告書		番号		DB20-022		
■ 会議議事録		作成日		2020年11月11日		
件名	2020年11月度 研究部部内会議 議事録		部課名	認可	審査	作成
			研究部	水川		久野
日時	2020年11月11日(水)10:30～12:00	場所	小会議室			
出席者	研究部統括役員（八木） 研究部長（水川） 技術主幹（内田） 寺本 寅屋敷 研究G長（今西） 知財G長（大矢）， 材ラボ長（久野） ※敬称略					
議題、議事の趣旨、結論（決定事項・要処置事項）等					担当、期限	
1. 共通 特に指摘なし						
2. 各グループ報告 （※見出し番号は会議資料の番号）						
2.1 研究グループ						
(1)1) 研究開発実績/進捗 経営会議で研究部は進んでいるという評価を頂いた。（八木さん）						
7) その他						
⑥AI 翻訳ソフトの全社共有化						
Q: AI 翻訳ソフトは画期的なものか？						
A: 画期的かはわからないが、クラウドと交信し高い精度の翻訳を実現している。 （メーカー情報TOEIC860点は別にして翻訳結果はかなりいい。）						
中国語など多言語にも対応。						
Q: 翻訳ワード数45万ワードとあるがそれを超えるとどうなるのか？						
A: 使用料に応じて追加費用が発生。今回の契約では100万ワードに増やす予定。						
(2)1) 技術棚卸し活動						
・航機についてヒアリング中だが光る技術を見つけるのに苦戦している。磨けば光る技術としては表面処理（めっき）を上げることができる。自社の技術を比較する対象がないため、航機部門自身でも強みの判断が難しい模様。						
2.2 材料・プロセスリサーチラボ						
(1)2) 特定プロセス支援研究：航熱 アロジン処理						
機械加工切削液のろう付後変色への影響を調べる場合、機械加工切削液はメーカーによって成分が千差万別。何が入っているかよく注意して研究を進めること。						
2.3 知財グループ						
(2)1) MEMS_SkyDrive とのNDA の件						
Q: これまでドローンにはMEMS は使われていなかったのか？						
A: これまでのドローンは小さく搭載が難しかった。空飛ぶクルマは人が乗るのでサイズや重量は問題にならないし、精度も要求される						
Q: 売れるのか？						
A: 期待している。						
(11) 宮園特許事務所_審査請求期限徒過の件						
Q: 知財報告会報告内容と同じか？						
A: 同じである。						
Q: どうすれば再発を防ぐことができるか対策は？						
A: 特許事務所の再発防止対策を確認する。						
Q: 特許が見なし取り下げ状態にあるというのが回復は可能か？						
A: 特許庁のホームページには類似例が記載されて、コロナ禍による期限徒過の回復は比較的広く認められているようであり、「手続をすることができなかった手続の期限から、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響を受けたとは考えにくい場合等を除き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた旨が記載されている場合は、当面の間、救済を認めることとします。」の旨記載もある。回復できることを期待している。						

		その他 研究部の変遷について部門会議で説明するように ※ 次回 2020 年 12 月度部内会議(12/10)の資料担当は 研究G長 以上.	
計	8	関連文書類 2020年11月度 研究部 部内会議資料	